

差別のない街づくりに頑張る若者の姿を描く
感動の人権啓発学習教材用ビデオ——！

文部科学省選定
優秀映画鑑賞会推薦
青少年育成国民会議推薦

一人ひとりの 心は今！

風も木も空気も
みんな平等や
人が人を差別する
こんなこと
あつてはならんことや——！



味鳥
大西 結花
佐川 満男
松本 元
湖条 千秋
仲 亞利彩
石原 誠
南条 好輝
高岡 建治



企画
ELE

和歌山県人権啓発センター

監督 原田 隆司
プロデューサー 八頭司重信
脚本 はつしたかし
撮影 林 健作
照明 山北 一祝
録音 林 基継
記録 松田 亜子
VE 山本 秀一
製作 八頭司 享

制作 共和教育映画社

文部科学省選定

一人ひとりの心は今!

優秀映画鑑賞会推薦
青少年育成国民会議推薦



製作 ■ 八頭司 享

高岡 建治

南条 好輝

石原 誠

仲 亜莉彩

湖 千秋

松本 元

佐川 満男

大西 結花

監督 ■ 原田 隆司

プロデューサー/八頭司重信 脚本/はつしたかし 撮影/林 健作 照明/山北 一祝 録音/林 基継 記録/松田 亜子 VE/山本 秀一 製作デスク/竹田 治

エセ同和行為に対して怯むことなく、一貫してき然とした態度で拒否し、また、障害者問題を社内で取り組んで行く若い社員達の姿を描く感動の人権問題啓発ドラマである。

●ストーリー●

高田 彩(大西結花)と酒井雅夫(松本 元)は恋人同士で将来を約束している。二人が勤める会社に、彩の後輩で交通事故で入院していた松山千夏(仲亜莉彩)が一年ぶりに復帰してきた。だが、車椅子での勤務である。

社長の秋山(高岡建治)は障害者に理解があり、車椅子が通れるように社内にスロープもつけ、トイレも新設した。しかし、障害者用に改善されたのは目につく所だけで、不便さはまだまだあった。その事に気づいた彩は、会議の席で「スロープとトイレだけ直しただけで完全だといえない。社内の整理整頓、車椅子がゆったり通れるスペース、車椅子に乗ったまま、仕事がしやすい仕組みを考えないといけない」と発言する。

ある日、同和団体(エセ)を名の男から、5万円もする高い本を買えと電話が掛かってきた。専務の今井(南条好輝)は断りきれずあいまいな返事をしたために、相手の言いなりになって行く…この際、本を買えば電話も掛かってこないのではと、社長に本の購入を促すが、同和問題の学習会に何度も出席し、事の重大さを分かっている酒井は「この本のために同和問題をまじめに取り組んでいる人たちが、どれだけ迷惑しているか…」と今井を諭す。この問題があり、社内は今まで以上に人権問題を学習しようとする取組が始まる。

そんな中、彩と酒井は、千夏から交際している透(石原 誠)のことで相談を受ける。透は、千夏が入院していた病院の理学療法士をしていて、治療しているうちに、いつしか二人は思い合うようになった。

そんな二人の交際を、千夏の父は、透が同和地区の生まれであることで反対している。以前は人権問題について理解者だったが、同和団体を名の男から高い本を買わされて以来、同和地区の人に対して偏見を持つようになった。

それでも、透の人間性には好感をもっており、胸の内は複雑である。

ある夜、彩は父の重治(佐川満男)に会社で起こっている、エセ同和行為者の事を話す。「あんなしつこい人、同和地区の人かしら」と何気なしに言う彩に、「同和地区の人間はそんな事はせん」と声を荒立てる重治。

尋常でない父の様子に彩は困惑するが、暫くして重治は重い口を開く。彩の母信子(湖条千秋)が同和地区に生まれたこと、20世紀中には差別は無くなる事を願ってこの土地にきたこと、そして、彩が大きくなるにつれ、いつ話そうかと心を痛めていたことを話す。突然の両親の言葉に戸惑いを隠せない彩は、しばし沈黙がつづいたあと、吹切れたように「……心配しないで、私、差別なんかには負けへん。お父さんとお母さんの子でよかった」と二人を安心させる。

翌日会社では……

「本がダメならジュースの自動販売機を置いてくれ」と無理強いする、エセ同和行為者からの電話に専務はうろたえている。酒井は専務と代わり「もし送ってきたりしたらクーリング・オフの処置をします」とき然とした態度で断る。

また、彩から母親のことを打明けられた酒井は、気にすることはないと彩を励まし、生石高原に誘う。

秋晴れの生石高原の頂上に立つ二人……

「人が人を差別する。こんな事はあってはならん事や、お母さんの人生、無駄にせんと差別のない街づくり、明日からも頑張ろう」と、酒井と彩は誓う。

秋深い高原に涼風が吹き、ススキの穂を揺らしている。

●映画の視点●

●「私、車椅子の生活をおくるまで全然気がつかなかったの…」

不慮の交通事故で障害者になった千夏……

地域社会、あなたの職場での障害者対策について話し合ってください。

●「結婚はお互いの意志を尊重した上で誰もが自由にできるはずや」

二人の交際に反対する千夏の父は、昔は人権問題について理解者であったが、同和団体を名の男から5万円もする高い本を買わされたために同和地区の人に対して偏見を持つようになる。

千夏の父親の心境について話し合ってください。

●「5万円ぐらいの法裁、あんたで出来るやろ」

同和団体を名の男から本を買ってくれといわれたら、あなたはどうしますか?

専務の今井のとった行動と対応について話し合ってください。

●「20世紀中には差別は無くなる。もうちょっとの辛抱や?…ところが21世紀になつた今でも差別は無くならなんだ」

娘の彩を思いやるあまり、差別の厳しさから逃れようとした重治と信子の胸の内……彩の両親が歩んできた人生、永い苦しみから抜け出す事が出来たのでしょうか?

重治と信子の人生について話し合ってください。

●「お母さんの50年の人生無駄にしないように」……と

やさしい思いやりの心のある酒井。

「自動販売機?……勝手に置いたりしたらクーリング・オフの処置をします」と、き然とした態度で、エセ同和行為者に対応する酒井の行動。

人権問題を学習している酒井について話し合ってください。



頒布価格①¥199,500(税込) ②¥73,500(税込) 上映時間34分



共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com